

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度阿蘇カルデラ内斜面崩壊調査検討業務
業 務 概 要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 阿蘇砂防事務所長 坂井 佑介 熊本県熊本市東区下南部1-4-73
契 約 年 月 日	令和 5年 6月 9日
契 約 業 者 名	令和5年度阿蘇カルデラ内斜面崩壊調査検討業務日本工営・大日本コンサル タント設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12
契 約 金 額	22,396,000円(税込み)
予 定 価 格	22,396,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	阿蘇砂防事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年 6月10日
履 行 期 間 (至)	令和 5年12月20日
備 考	

別添 1

契約理由書

1. 業務件名 令和5年度阿蘇カルデラ内斜面崩壊調査検討業務
2. 履行場所 阿蘇砂防事務所管内
3. 契約の相手方 令和5年度阿蘇カルデラ内斜面崩壊調査検討業務日本工営・大日本コンサルタント設計
共同体
住 所：福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12
会社名：日本工営株式会社
電 話：092-475-7565
住 所：福岡県福岡市博多区東比恵4-2-10
会社名：大日本コンサルタント
電 話：092-289-1840

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、阿蘇カルデラ内における土砂災害発生の危険度の高い斜面の抽出方法や斜面崩壊発生の閾値を評価するため、阿蘇カルデラ斜面を対象として水文調査等を行うとともに、阿蘇カルデラ斜面の地下水の流動状況等を評価するために地盤の比抵抗計測の調査計画について検討を行うものである。

2) 業務の内容

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1. 計画準備 | …1式 |
| 2. 資料収集整理 | …1式 |
| 3. 渓流水の水文調査 | …1式 |
| 4. 地盤の比抵抗計測の調査計画立案 | …1式 |
| 5. 阿蘇カルデラ内斜面の土砂災害発生の危険度評価手法の検討 | …1式 |
| 6. 報告書作成 | …1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する4者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施手順」、「その他」における「実施フローの工夫」、「有益な代替案または重要事項の指摘」が記載されていること、及び特定テーマの「阿蘇カルデラ斜面の地下水の流動状況等を評価するために地盤の比抵抗計測の調査計画について検討する際の留意点について」に対する技術提案について「的確性」、「実現性」について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者) 阿蘇砂防事務所 調査課長